

## IFX30000

インターフェースユニット シリーズ X

### 概要

IFX30000 は、CATAMS Windows と合わせて受信計システムを構築するインターフェースユニットで、IFX-20000 の後継機種です。

### 特長

- 各種タンクゲージ通信フォーマットに対応。双方向通信では 32 台まで、単方向通信では 16 台までのタンクゲージ発信器と接続可能。
- IFX30000 は 16 ユニットまで連結可能で、タンク数に応じた柔軟なシステム構成が可能。
- 従来機種に比べて小形・軽量・省電力・耐高温設計。
- タンクデータ受信計 NMR5000 と同じ通信基板を使用。
- 基板交換が容易な構造となり、メンテナンス性が向上。

### 標準仕様

接続容量	双方向通信	最大 32 発信器	*1
	単方向通信	最大 16 発信器	*1
	他社通信	最大 20 発信器 (標準)	*1
接続可能発信器	DM4N シリーズ、FW9000NN シリーズ、他		
上位通信	LAN 2ch. RS-232C、RS-485、USB type C 最大 2ch.		
電源電圧 / 消費電流	DC24V ±5% / 約 0.35A		
周囲温度	0 ~ 50°C		
周囲湿度	20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)		
外形寸法	151 (W) × 61 (H) × 200 (D) mm		
質量	約 0.8kg		
塗装色	ブラックアルマイト		
交換部品 ( ) : 推奨交換周期	ヒューズ (5 年) その他部品 (7 年)		

\*1 : 最大 16 ユニットまで連結接続可能



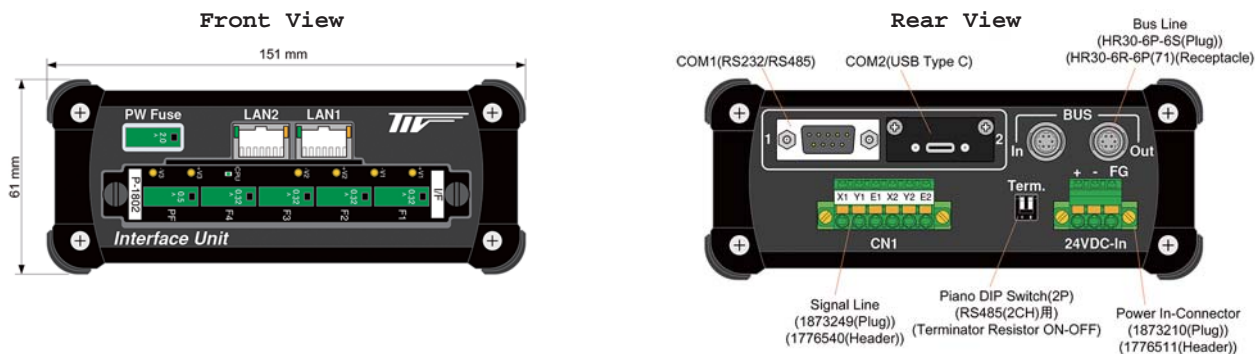
### 形式コード

IFX3				
発信器フォーマット	W 0		双方向通信基板	FW/DM-II フォーマット
	S 0		単方向通信基板	DMフォーマット
	S 1			DB-Mフォーマット (36V)
	S 2			DB-MLフォーマット
	S 3			DB-Mフォーマット (24V)
	E 0		他社 通信基板 (MDP/V1フォーマット)	Ch1 : 他社通信、 Ch2 : 他社通信
E 1		Ch1 : 他社通信、 Ch2 : TIC 通信		
背面コネクタ		1 1	COM1: RS-232C	COM2: RS-232C
		1 2	COM1: RS-232C	COM2: RS-485
		1 3	COM1: RS-232C	COM2: USB Type-C
		2 1	COM1: RS-485	COM2: RS-232C
		2 2	COM1: RS-485	COM2: RS-485
		2 3	COM1: RS-485	COM2: USB Type-C
		3 3	COM1: USB Type-C	COM2: USB Type-C

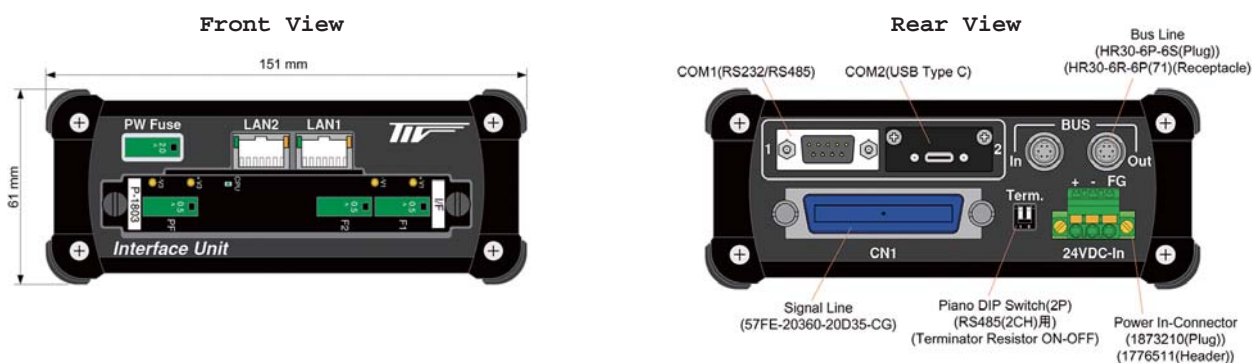
注) : 正面の LAN1, 2 コネクタは、標準装備します。

外形寸法図

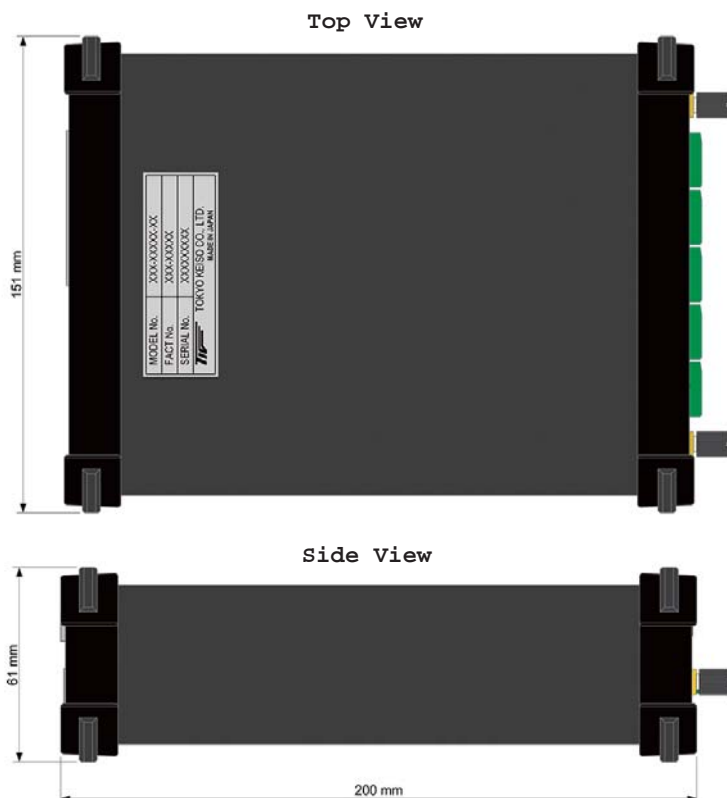
[双方向通信]



[単方向通信]



[共通]



※記載事項は製品改良のため予告なく変更することがあります。